



かみさと

議会だより

平成24年6月

No. 55

■発行/上里町議会 ■編集/議会だより編集委員会 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木982番地 TEL.0495-35-1216(直) FAX.33-2429

神流川沿岸発電所を視察



発電タービン



上里幹線パイプライン



調圧水槽

■賀美小学校北側に建設されていた国営神流川沿岸小水力発電施設が完成しました。この発電所は、農業用水を利用して発電する施設です。発電する電気量は、580千kwh/年で、一般家庭約160世帯の1年間の消費電力に相当します。



上里町 マスコットキャラクター
こむぎっち

もくじ

正副議長就任	2
5月臨時会・3月定例会の概要	2~5
一般質問	6~11
議会日誌、編集後記等	12



5月臨時会

5月1日

議長に高橋正行議員、副議長に植井敏夫議員を選出

各常任委員、議会運営委員の選出と正副委員長を互選

5月1日に臨時会が招集され、議長選挙、副議長選挙、常任委員・議会運営委員の選任や町長提出の議案を審議しました。

議長就任あいさつ



◎議長選挙（投票）

高橋正行 11票
沓澤幸子 1票
白票 1票

このたび5月1日に行われました臨時会において、議員の皆様の支持を

賜り議長の重任を務めることになりましたことは、まことに身に余る光栄でありまして、衷心より感謝申し上げます。

地方分権が進む中で、地方自治体には自己決定・責任が求められ、地方議会の果たすべき役割はいつそう重要になってまいります。

当町でも他の自治体と経済状況は多少の差はあるにせよ、少子高齢化の進む中で高齢者福祉の充実をはじめ、子育て支援、教育の向上などの課題が山積しております。

議会運営を円滑に進めることが議長に課せられた責務と考えると共に、議会人として町民の皆様のご期待に応え、上里町の発展のために誠心誠意努力したいと存じますの

で、今後とも皆様方の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

副議長就任あいさつ



◎副議長選挙（投票）

植井敏夫 12票
沓澤幸子 1票

去る5月1日の臨時会におきまして、副議長に推挙され、職に就かせて

いただきましたことは身に余る光栄であり、一方では、その重責の重さを痛感しているところであります。

今後は、高橋議長のもと、議会運営が公正かつ円滑に運営されるよう努力と研鑽を重ねていく所存であります。

国から地方への権限委譲の流れの中で、地方議会の役割もさらに重要となってきました。上里サーブエリア周辺地区整備事業をはじめ、諸事業の進展を図り、活力あるまちづくりを目指して上里町のさらなる発展のため、まい進していく所存でありますので、今後とも皆様方の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

◎常任委員の選任及び正副委員長の互選

◎議会運営委員の選任及び正副委員長の互選
(常任委員会、議会運営委員会の構成は、12ページに記載してあります。)

◎専決処分の承認を求めるところについて

◎条例の改正を3月31日に専決処分したので、その承認を求めるところです。今回の改正は、町民税における東日本大震災の被災者に対する救済措置並びに固定資産税に関しては、住宅用地に適用される据置特例を廃止し、平成24年度の評価替えに伴う税負担軽減措置等の整理合理化等を行うためです。

※審議結果 承認

◎専決処分の承認を求めるところについて

◎国民健康保険税条例の改正を3月31日に専決処分したので、その承認を求めるところです。今回の改正は、東日本大震災の被災者に対する救済措置のためです。

※審議結果 承認



3月定例会

3月2日～23日

■ 自転車等放置防止条例・空き家等適正管理条例を可決
 ■ 行政改革により町長、副町長の給与20%、教育長は15%の削減を継続
 ■ 平成24年度一般会計・特別会計・水道企業会計の当初予算総額 132億7404万3千円を可決

3月定例会は、3月2日に開会され、自転車等放置防止条例・空き家等適正管理条例や平成24年度当初予算を中心とする町長提出議案35件や請願を審議して23日に閉会しました。3月定例会で審議された内容をお知らせします。

条例等関係

- ◎ 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例について
 - 国における病気休暇制度及び特別休暇制度の改正に伴うものです。
 - ※ 審議結果 原案可決
- ◎ 特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
 - スポーツ基本法等の施行に伴うものです。
 - ※ 審議結果 原案可決
- ◎ 町長及び副町長の給与等の特例に関する条例及び教育委員会教育長の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例について
 - 行政改革の推進及び財政負担の軽減のため、給与等の特例措置を継続するものです。
 - ※ 審議結果 原案可決
- ◎ 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する特例条例及び特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償等に関する特例条例の一部を改正する条例について
 - 行政改革の推進及び財政負担の軽減のため、費用弁償等の特例措置を継続するものです。
 - ※ 審議結果 原案可決
- ◎ 一般職員等の旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例について
 - 行政改革の推進及び財政負担の軽減のため、旅費の特例措置を継続するものです。
 - ※ 審議結果 原案可決
- ◎ ふるさと基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例について
 - ふるさと基金の所期の目的を達成したことから基金を廃止するものです。
 - ※ 審議結果 原案可決
- ◎ 事務手数料条例の一部を改正する条例について
 - 埼玉県からの権限委譲による廃棄物再生事業者登録申請手数料を定めるとともに住民票の手数料及び免除規定等を整備するものです。
 - ※ 審議結果 原案可決
- ◎ 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について
 - 災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴うものです。
 - ※ 審議結果 原案可決

◎ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

○児童福祉法の改正等に
伴う文言整理のものです。
※審議結果 原案可決

◎重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について

○児童福祉法、障害者自立支援法等の改正に伴う
文言整理、取扱の変更の
ためです。
※審議結果 原案可決

◎国民健康保険条例の一部を改正する条例について

○国民健康保険被保険者の健康の保持と増進を図るため、保健事業として指定保養施設利用補助を行っていたが、人間ドック等予防検診補助の推進により、被保険者の健康管理を図るため、国民健康保険の厳しい財政状況に鑑み廃止するものです。
※審議結果 原案可決

◎介護保険条例の一部を改正する条例について

○第5期介護保険事業計画策定に伴い、第1号被保険者の介護保険料の改定を行うものです。
※審議結果 原案可決

◎印鑑条例の一部を改正する条例について

○外国人登録制度の廃止及び外国人住民が住民基本台帳法の適用対象となることに伴うものです。
※審議結果 原案可決

◎自転車等放置防止条例について

○公共の場所における自転車等の放置による生活環境の障害を防止し、良好な生活環境の保持に資するため制定するものです。
※審議結果 原案可決

◎空き家等適正管理条例について

○管理不全となっている空き家等の適正管理について、処理手順を体系的に取りまとめ、建築物等の危険排除、防火、防犯等環境保全に資するため制定するものです。
※審議結果 原案可決

◎町営住宅条例の一部を改正する条例について

○公営住宅法の一部改正に伴い、町営住宅に単身で入居できる高齢者、身体障害者等の資格要件を定めること及び入居予定者の選定の特例をより明確に定義するためです。
※審議結果 原案可決

◎児玉都市計画神保原駅南土地区画整理事業施行規程に関する条例の一部を改正する条例について

○神保原駅南区画整理事業の換地処分を平成24年度に予定しており、精算金の貸付利率等について改正を行うものです。
※審議結果 原案可決

◎児玉郡市広域市町村圏組合の共同処理する事務及び規約の変更並びに財産処分について

○児玉郡市広域市町村圏組合の共同処理する事務及び共同規約を変更すること並びに財産処分について協議するものです。
※審議結果 原案可決

◎埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

○住民基本台帳法の一部改正に伴い、埼玉県後期高齢者医療広域連合規約を変更することについて協議するものです。
※審議結果 原案可決

道路廃止・認定

◎道路線の廃止について

○払下申請に伴い路線を廃止するものです。
※審議結果 原案可決

◎道路線の認定について

○道路用地の寄付採納に伴い路線を認定するものです。
※審議結果 原案可決

補正予算関係

◎平成23年度一般会計補正予算

○歳入歳出それぞれ10億9139万7千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ89億9316万2千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・ 農業委員会委員選挙事業 △191万5千円
- ・ 災害対策事業 1億7990万5千円
- ・ 公共用地取得・管理事業 4319万8千円
- ・ 財政調整基金積立金 2億5000万円
- ・ 財政管理事業 1億2100万円
- ・ 法人立保育所等運営委託事業 △1083万8千円
- ・ 子ども手当支給事業 △1億1255万3千円
- ・ 国民健康保険特別会計繰出金 △8851万2千円
- ・ 上里サーブエリア周辺地区道路整備事業 1億1510万円
- ・ 古新田四ツ谷線整備事業 6440万円
- ・ 土地区画整理事業 2847万2千円
- ・ 公共下水道事業特別会計繰出金 △725万9千円
- ・ 教育委員会事務局運営事業 557万5千円

■平成24年度一般会計、特別会計、水道企業会計の8会計、予算総額13億7,404万3千円を慎重審議のうえ可決しました。なお、予算の概要については、「広報かみさと4月号」に詳しく掲載してありますので、省略いたします。

当初予算関係

■この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、神保原駅南土地区画整理事業特別会計、公共下水道事業特別会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

- ・ 小学校管理運営事業 △287万9千円
 - ・ 小学校改修事業 2億1,790万8千円
 - ・ 上里中学校改築事業 3億5,725万4千円
 - ・ 体育施設管理運営事業 1億1,778千円
- ※審議結果 原案可決

平成24年度一般会計・特別会計・企業会計予算集計表

(単位：千円)

会計名	24年度予算額	23年度予算額	増減額	増減率
一般会計	7,422,000	7,600,300	△178,300	△2.3%
特別会計	4,710,744	4,295,424	415,320	9.7%
国民健康保険	2,967,288	2,706,553	260,735	9.6%
介護保険	1,467,246	1,347,457	119,789	8.9%
後期高齢者医療	206,648	192,894	13,754	7.1%
駅南土地区画整理事業	69,562	48,520	21,042	43.4%
公営企業会計	1,141,299	1,320,832	△179,533	△13.6%
公共下水道	332,029	414,209	△82,180	△19.8%
農業集落排水事業	11,470	11,045	425	3.8%
水道事業	797,800	895,578	△97,778	△10.9%
合計	13,274,043	13,216,556	57,487	0.4%

※ 水道事業は、収益的収入と資本的収入の合計額

請願の審査結果

件名	提出者	審査結果
政党助成金を廃止して東日本大震災被災者救援に使うことを求める意見書の提出を求める請願書	本庄・児玉郡市地域労働組合連合会 議長 新島善弘	不採択

東日本大震災発生から1年にあたり3月9日(金)本会議前、関係者とともに、大震災で被災に遭われ、犠牲となられた方々に、ご冥福とお悔やみを申し上げ黙祷を捧げました。



一般質問



議席番号
2番 山下 博一

〔質問事項〕

1. 道路網の充実について
2. 上里サービスエリア周辺地区整備事業について
3. 安全パトロールについて
4. 被災地のがれき処理について

1 道路網の充実について

(問) 県道上里鬼石線(神保原本郷線)の工業団地までの延伸について。

(答) 平成15年度・17年度に町が測量を実施、16年度地元説明会を実施した経過があり、県施工での事業化を要望しています。この道路延伸が可能になりますと、国道17号バイパスと児玉工業団地が一本の道路で結ばれ、地域振興につながると共に、通学路や生活道路に多くの通勤車両が通行する危険な状況が改善されます。

県事業で実施する場合は、本庄市、神川町と調整して、都市計画決定が条件となり課題が多くあります。国の補助事業で町が実施できないか今後の検討課題とします。

(問) 県道神保原停車場線道路拡幅整備と駅周辺の活性化について。

(答) 駅北の活性化について平成16年「駅前通り活性化計画策定調査報告書」を作成、神保原駅前から国道17号までの神保原停車場線の拡幅を取り上げています。数回にわたって県にも要望を行っています。



県道上里鬼石線七本木地内

が地元の協力が得られず地域住民の合意形成が重要だと考えております。どんな町づくりが必要か主体的に考える組織が必要で、今後、地元の住民が主体になった町づくり、組織づくりの立上げを期待しています。都市再生整備計画事業についても町で可能か検討します。

(問) 本庄下野堂線道路の神保原駅までの延伸について。

(答) 本庄市から神保原駅への効果的なアクセス道路であり、国等の補助事業の対象になるか、工場等補償などの全

体事業費の検討をします。

2 上里サービスエリア周辺地区整備事業について

(問) スマートインターチェンジ設置の推進事業で、この事業を推進するため国・県への取組みについて。

(答) 国交省、埼玉県等へ平成23年度連結許可申請受付に向けて要望活動を実施しました。

(問) サービスエリア周辺地区企業立地の誘導に関連して、埼玉県は県北の企業誘導を重点的に取り組む意向であります。町として、企業立地を誘導するための環境整備等について。

(答) 上里町が企業誘致を行う最大のセールスポイントは高速道路へのアクセスの良さであります。企業誘致の優遇措置は今後の検討課題とし、企業誘致についても県と情報交換等連携していきます。

3 安全パトロールについて

(問) 安全パトロールの組織化に関して、町内の防犯対策・子供達の安全安心を守る為、町内の一部地域で実施し

ている安全パトロール活動を町内全域に広げることについて。

(答) 地域防犯パトロール隊の数も20団体以上で、以前推進協議会を設立しましたが、今後組織を再編し、町内全域で行えるようになります。各行政区のリーダーやパトロール隊員の研修を検討致します。

4 被災地のがれき処理について

(問) 上田埼玉県知事が受け入れ表明している被災地のがれき処理で放射能検査をクリアしたのがれき処理を地元で受け入れることについて

(答) 県は、がれき受け入れの安全性確認のため3月12日に県担当者が野田村での放射線測定を実施、0.04マイクロシーベルトと埼玉県の平均値の約半分程度であることを確認しました。上里町は、児玉郡市広域市町村圏により処理を実施しておりますので、上里町単独での受け入れは出来ませんが、埼玉県から要請があった場合は、管理者会で協議致します。

一般質問



議席番号
1番 植原育雄

[質問事項]

1. デマンド型交通システムについて
2. 中学校で今春から始まる武道の必修化について
3. 道路整備等による交通事故防止について

1 デマンド型交通システムについて

(問) 現在の福祉巡回バスは利用者が少なく、目的地まで時間がかかりすぎ等で効率が悪い、見直しの考えがあるか伺います。

(答) 町民の方の要望も多い各商業施設に停留所を設けたり、一周の時間を短縮するために現在の三コースを六コースにしたり、停留所の変更も行います。又、一般の人も乗りやすいように「福祉巡回バス」の「福祉」を削除し、「巡回バス」とバスの名称も変更します。

(問) 今後も高齢者は増加し、高齢者を含めた交通弱者も増え続ける時代背景になってきています。リクエストにより送迎可能な効率の良いデマンド型交通システムの導入について伺います。

(答) 他の市町の導入事例を調査しており、方式としてタクシー、あるいは小型バスを利用するか、予約運行システムをどのように構築するのか、運行の際の料金を徴収するのかしないのか、

か、停留所設置方式かドアツードア方式か、事業主体をどうしていくのか、本町ではどのような方式が最適か現在の巡回バスの運行期間延長との関係もあり、これらの点も考慮しながらデマンド型交通システム導入について引き続き検討を進めてまいります。

2 中学校で今春から始まる武道の必修化について

(問) 町内の中学校で授業に取り入れようとしている武道の種目について伺います。

(答) 上里中学校では剣道、上里北中学校では柔道を体育館で実施します。

(問) 授業に取り入れようとしている武道の種目の準備について伺います。

(答) 上里中学校では以前に体育の選択科目を剣道としていたので防具や竹刀は40人分用意できており、上里北中学校では平成23年度予算で柔道用畳一六九枚を購入し、柔道着も授業に支障のない枚数が用意されています。

(問) 授業に取り入れよう

としている武道の担当教員確保について伺います。

(答) 体育の教員は、上里中学校に4人おり、そのうち剣道の経験者はおりません。上里北中学校には体育の教員は3人おり、そのうち柔道の経験者は2人おります。

3 道路整備等による交通事故防止について

(問) 町内の県道整備等について伺います。

(答) 天神地内の県道児玉新町線は道路幅員が狭くカーブしていて危険であり、県道改修を目指します。県道上里鬼石線の延伸は国の補助事業で町が実施するか、又、県道として実施するか、埼玉県等の関係機関と調整してまいります。

(問) 町内道路の危険箇所をなくす等、道路整備等による交通事故防止について伺います。

(答) 天神地内の県道改修により危険箇所を減らしたい。県道上里鬼石線の延伸は地域振興につながると共に、現在の通学路や生活道路に多くの通勤車両が通行

する危険な状況が改善されると考えています。古新田四ツ谷線は平成25年度完了予定で、開通すると、県道上里鬼石線を横断し、四ツ谷地内の丁字路への交通量が増大することが予想されます。この丁字路は事故が多く発生しており開通後の対策を含め警察とも協議しています。信号での規制ができない状況もありますが、交差点改良を含め検討を進めます。又、町道の路面標示や標識も消えてしまったり傷んでいるものもあり、順次整備を進め交通事故防止に努めます。



県道児玉新町線勅使河原地内

一般質問



議席番号
10番 沓澤幸子

[質問事項]

1. 高齢者支援の充実について
2. 少子化を止め、安心して子育てできる施策の充実について

1 高齢者支援の充実について

(問) 町の総合振興計画は「高齢者の学習の場や機会の充実につとめます」とあります。身近な地区公民館を中心に、スポーツや学習活動を専門家や指導者を呼べるような予算付けが必要ですか。計画の目標を伺います。

(答) 地域の中で高齢者も健康の維持を心がけながら、趣味を楽しむ生活が送れるよう助成等を実施したいと考えています。公民館の報償費は増額したいと思っています。

は65%で、健康への不安が1位でした。地域を訪問し、健康指導が出来る保健師の増員について伺います。

(答) 住民の福祉意識の啓発、それを補完するボランティアの育成に努め、各地域に保健師の要請があれば指導していきたいと思っています。

(問) 民主党野田政権は、「社会保障と税の一体改革」と言い、消費税増税を計画しています。町長は町民の暮らしをどう捉え、現状の中での消費税増税をどうお考えですか。

(答) 国会議員の80人削減や給与の削減が解決できれば消費税は上げないと民主党はうたっていました。今回の東日本大震災という状況の中で、消費税の増税が行政改革と一緒に出来れば上げることがやぶさかではないと思います。

2 少子化を止め、安心して子育てできる施策の充実について

(問) 今年も保育所は4月から定員を超える所が多く、子ども達にも負担になる過

密保育状況です。今後の保育需要の見通しと、過密保育の打開について伺います。

(答) 町内六園580名の定員に対し612名、管外の保育園に128名が通園予定です。年度途中入所を希望する保護者が増えており、今後も保育需要は増加が予想されますが、現状での推移を見守りたいと思っています。

(問) 年少扶養控除の廃止等により、子育て世帯の住民税負担が増えます。保育料は同一世帯の児童が同時に入所した場合二人目は半額、三人目以降はゼロ円です。寄居町は同時利用に関わらず第三子以降は無料です。上里町でも同時利用に限らず軽減を拡充することについて伺います。

(答) 寄居町の保育料の基準全体は当町より高く設定されているようですので、ご理解いただきたいと思えます。

(問) 厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所発表の50年後の日本の将来人口は8674万人で14歳以

下は9・1%です。一方で未婚者の九割が結婚を望み、希望する子ども数は2・3人です。人口推計は結婚や出産・子育て支援等が変わります。「ふれあい祭り」の一角に未婚者や若者が交流出来る場を設定するなど、交流の場の提供やイベントについての考えを伺います。

(答) 若者の出会いの場イベントとして、町の行事を利用して気軽に参加していくことは大変良いアイデアだと思います。今後検討させていただきたいと思えます。



保育園の子ども達

一般質問



議席番号 4番 高橋 正行

[質問事項]

1. 神保原本郷線の延伸計画と開発問題について
2. 太陽光発電に伴う補助金について
3. 上里町役場公用車に電気自動車の購入について
4. 交通安全について

1 神保原本郷線の延伸計画と開発問題について

(問) 神保原本郷線の延伸予定地の土地開発問題についてお伺いします。

(答) この県道藤岡本庄線に接する交差点南側の土地開発につきましては、昨年末に高橋議員と地元区長に説明を行ってきましたが、その後、開発業者と開発協議を進めた結果、東側に道路を作り、住宅を4軒西側に建設することが決まりました。また、神保原本郷線の延伸計画については、都市計画決定して県道としての整備を進め、埼玉県をはじめとした関係機関と相談のうえ、調整と検討をさせていただきますと思います。

2 太陽光発電に伴う補助金について

(問) 電力不足や停電、料金値上げ等を視野に入れたなかで、上里町でも急速に太陽光の設備を設置する家庭が増えております。上里町については補助金等を含めて今後どのような対応を進め

ていくのかお伺いします。

(答) 補助金につきましては、太陽光を利用したクリーン・エネルギー導入の支援をして環境にやさしい町づくりを推進するため、平成23年7月より開始をいたしましたところでございます。補助事業は、年間300万円の補助を3年間実施し、総額900万円の補助事業として計画をいたしました。平成23年度で600万円の補助を実施しましたので、当初予定した事業は、平成24年度で終了するわけであり、今回、補助金増額との質問であり、今後も予算との関係や周辺自治体の動向を見ながら検討させていただきますと思います。

3 上里町役場公用車に電気自動車の購入について

(問) 上里町の公用車に経済性にも環境にも優しいクリーン・エネルギー車の導入についてお伺いします。

(答) 経済産業省クリーン・エネルギー自動車等導入促進対策補助金の対象となるため、補助金の活用を行い新年度に1台購入予定をしているところでございます。今後の電気自動車購入推進に対する考え方は、今回購入します車輛の利用状況を判断しながら検討してまいりたいと考えています。

4 交通安全について

(問) 自転車事故防止に町ではどのような対策をとっていますか。

(答) 上里町では、人口千人当たりの人身事故件数が昨年埼玉県でもワースト2位と上位であり非常に憂慮しているところでございます。上里町では、自動車事故が最も多く、次に自転車に関する事故が多く、今でも事故防止を重点目標として呼びかけてきましたが、なかなか効果が上がらないのが実情です。昨年12月には埼玉県自転車安全利用促進に関する条例も制定し、平成24年度より自転車安全指導員の制度も開始することとなったところでござい



小学校交通安全教室

一般質問



議席番号
5番 納谷克俊

[質問事項]

1. 公共施設の維持補修等について
2. 上里サービスエリア周辺地区整備事業について

1 公共施設の維持補修等について

(問) 建築物は適正な維持補修を行うことよってトータルコストを低く抑えることができます。そのためには各施設の現状を調査して中長期的な維持補修年次計画を作成する必要があります。

町ではその様な調査の実施や計画は作成されているのでしょうか。

(答) 各公共施設の建物本体や設備機器等の機能維持については、今まで適宜補修工事を実施し機能維持に努めておりますが、今後、中長期的な維持補修に要する費用等の算定や、総合的な施設維持修繕については、修繕計画の策定などの検討を行う必要があると考えています。

(問) 今後発生するであろう公共施設の維持補修等の財政負担を平準化し、住民

サービスの低下を防ぐためにも、公共施設の維持補修のための基金を設置することを提案いたします。

(答) 公共施設の維持補修費の平準化は、安定した財政運営を図るために必要と考えています。財源確保の方策として基金を設置し、積み立てておくことも対応策の一つと考えます。

財政状況や既設基金との調整を図る必要がありますので、今後検討してまいりたいと思います。

(問) 公共施設全体のある方を考えたときには、統廃合も含めた検討が必要になってくると思いますが、町長はいかがお考えでしょうか。

(答) 公共施設の見直しについて調査検討を行うため関係課長による検討委員会を設置しました。現在、担当者による幹事会において調査検討を進めているところ

です。

2 上里サービスエリア周辺地区整備事業について

(問) スマートインターチェンジの進捗状況について伺います。連結許可申請の受付は再開されたのでしょうか。

(答) 今のところ申請日についての情報はありませんが、いつ連絡をいただいても申請できるよう事務的な準備を進めています。

(問) 企業誘致を行っていく上で用地の販売価格と並んで企業の進出可能時期が焦点になると思います。

農地転用許可の見込み、周辺道路整備や盛土、給排水設備、雨水調節池等の造成スケジュール、企業誘致のための職員体制の強化について町長はいかがお考えでしょうか。

(答) 企業誘致推進本部会議を開催し、上里サービス

エリア周辺地区整備事業への企業誘致などの基本的な方針を確認したところです。今後、本格的な企業誘致活動を実施したいと考えておりますが、私も職員の先頭に立って誘致活動を行っていきたいと思います。

また、企業誘致のノウハウや情報を持っている埼玉県産業労働部と、引き続き連携を深めていきたいと考えています。



上里サービスエリア周辺地区

一般質問



議席番号 6番 中島美晴

[質問事項]

1. 交通安全対策の推進について
2. 公立学校施設の整備について
3. 防災・減災対策について
4. 地域福祉の推進について

1 通学路の整備・安全対策について

(問) 町道106号線(四ツ谷金久保線)のJ.R高崎線踏切を渡って、四ツ谷の交差点までの区間についてですが、道幅も狭く、歩道も未整備のままです。30キロの速度制限区間ですが、車はかなりのスピードで走り抜けています。

通学路になっており、中学生の自転車走行環境の整備も含めて、早急に安全対策を講じていただきたいと考えますが、町長の見解をお伺いします。

(答) できる対策を早期に実施してまいります。

(問) 県道上里鬼石線と関越道側道北側カントーテクノ近くの信号のない交差点のところですが、早急な改善策が必要と考えますが、町長に見解をお伺いします。

(答) 対策を進めていきたいと考えています。

2 上里中学校建設及び学校施設の防災機能の強化について

(問) 上里中学校改築に伴い、国庫補助事業を多に活用し、太陽光発電設備の

導入や普通教室にも空調機器整備などの実施を提案させていただきます。建設委員の中からは、木質化などの声も上がっていたと聞いています。町長の見解をお伺いします。

(答) 現在、行っている実施計画の中で盛り込み、設置してまいりたいと考えています。

耐震化については、平成24年度に神保原小学校・賀美小学校の体育館改修工事を実施します。

上里中学校改築に伴い、防災機能の強化については、東日本大震災の教訓をもとに校舎棟、特別教室棟、体育館など全体的な利用を考えていきたいと思っております。

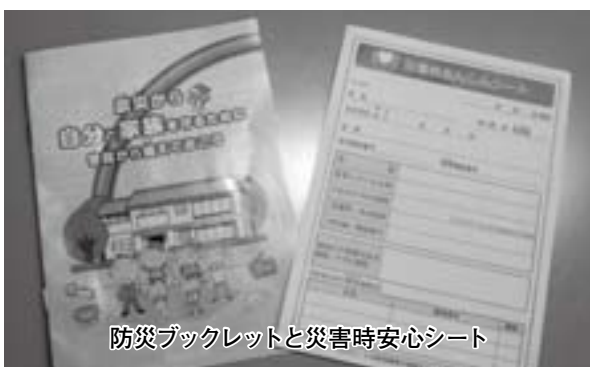
3 地域防災計画に女性の視点を取り入れて

(問) 上里町も今年度、地域防災計画の改定を策定することになりますが、策定計画の中に、これまで反映が不十分であった女性の視点を取り入れていただきたいと考えますが、町長はいかがお考えでしょうか。

(答) 今後、女性の意見を反映させる方向で検討してまいりたいと考えています。

(問) 防災・減災対策は、行政による公助だけでは不十分で、自助・共助・公助の組み合わせ連携が基本であり、とりわけ自らが災害に備える自助が不可欠です。そこで、防災対策の充実に向けて、地域住民の防災意識の向上等について、町長は、いかがお考えかお伺いします。

(答) 自主防災組織の立ち上げ支援に対し、前向きに検討していきたいと考えています。



防災ブックレットと災害時安心シート

(問) 防災ブックレットを紹介させていただきましたが、災害時安心シートと合わせて、町としても作成し、町民に配布する考えはおありですか。町長に見解をお伺いします。

(答) 検討してまいりたい。

4 地域見守りネットワークの強化について

(問) 現在、作成中の上里町地域支え合いマップの進捗状況についてお聞きします。

(答) 現在、登録を希望する人は、789人、この内、ひとり暮らしの高齢者は290人、70歳以上の方のみ世帯が234軒、468人、要介護高齢者は10人、障がい者は11人等となっております。

また、隣り近所の支援者の情報の登録を希望される方は、約4割弱となっております。

また、町では、お互いを思いやり、助け合い、その人らしく自立した生活が送れるような仕組みをつくるため、上里町地域福祉計画の策定を平成24年度に予定しています。

議会日誌

3月

- 1日 埼玉県町村議会議長会定期総会
- 2日 3月定例会初日、開会、町長の施政方針及び行政報告、全員協議会
- 6日 議案審議（条例等）
- 7日 議案審議（23年度補正予算、24年度当初予算）
- 8日 全員協議会
- 9日 全員協議会
- 12日 議案審議（24年度当初予算）
- 12日 常任委員会（請願等審査）
- 15日 中学校卒業式
- 21日 一般質問
- 22日 一般質問
- 22日 常任委員会（請願等審査）
- 23日 請願、定例会最終日・閉会
- 23日 小学校卒業式
- 25日 乾武マラソン大会
- 26日 広域圏組合議会

4月

- 5日 県町村議会議長会役員会
- 9日 小・中学校入入学式
- 13日 県町村議会議長会役員会
- 14日 上里町消防団辞令交付式
- 16日 議会運営委員会視察研修
- 24日 県市議会議長会総会
- 25日 坂東上流水害予防組合・水防協議会総会
- 26日 議会だより編集委員会

5月

- 1日 臨時議会
- 16日 議会だより編集委員会
- 19日 PTA連合会総会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 商工会通常総代会
- 25日 児玉郡町議会議長会総会

委員					副委員長	委員長	区分
（欠員）	植井敏夫	荒井肇	小暮敏美	高橋仁	新井實	山下博一	総務経済常任委員会
	高橋正行	納谷克俊	中島美晴	杳澤幸子	根岸晃	植原育雄	文教厚生常任委員会
	中島美晴	小暮敏美	高橋仁	根岸晃	荒井肇	納谷克俊	議会運営委員会

副議長 高橋正行
議長 植井敏夫

上里町議会構成表

平成24年5月1日現在

議会だより編集委員会の委員が代わりました。

議会だより編集委員は、各常任委員会と議会運営委員会の正副委員長が兼任しています。5月1日に開催された臨時議会で各常任委員会と議会運営委員会委員の選任と正副委員長の互選が行われた関係で、編集委員が新しいメンバーとなりスタートしました。
なお、編集委員長には、新井 實議員、副委員長には、荒井 肇議員が就任しました。

事務局人事異動

4月1日付で人事異動が行われ、主任の石井里美が産業振興課に転出され、会計課から主事の立石妃見が着任しました。

6月定例会を傍聴しませんか

■手続きは簡単です■

定例会は、6月4日（月）に開会の予定です
なお、一般質問は4日、5日の2日間を予定しています。

●お問い合わせは、議会事務局へ
電話35-1216（直通）

委員				副委員長	委員長	議会だより編集委員会
植原育雄	山下博一	納谷克俊	伊藤裕	荒井肇	新井實	

任期満了に伴う議会だより編集委員会委員の改選によって新しく委員長に就任した新井 實でございます。
去年3月11日に起きた東日本大震災から、はや1年3ヶ月が過ぎ去ろうとしております。亡くなった多数の人々のご冥福を祈ると共に、大災害に遭われた地域の早急な復旧・復興を強く願うところであります。
東日本大震災以来、上里町及び議会・町関係機関すべてが防災に対する再認識・再検討を実施しており、町民の皆様におかれましても防災意識の高揚や備えが重要かと思っております。
今後の議会だよりの編集にあたっては、議会と町民の協働の町づくりを目指し、議会と町民の架け橋として町民が安全で安心して暮らせる町づくりのために、読みやすく、わかりやすい「議会だより」にする所存でありますので、よろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

